

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 新郷工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町新郷1-4

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準年度とし、平成23（2011）年度から平成27（2015）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	11,725	11,256 4.0	15,184 (30.0)	15,386 (31.0)	18,716 (60.0)	22,776 (94.0)	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	11,725	11,256 4.0	15,184 (30.0)	15,386 (31.0)	18,716 (60.0)	22,776 (94.0)	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	事業拡大及び生産増により排出量は増加した						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 内製高(百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	1.334	1.280 4.0	1.387 -4.0	1.340 0.0	1.485 -11.0	1.551 -16.0	100.0
実績に対する 自己評価	生産に寄与しないエネルギー消費の低減活動による改善効果 顧客からの高度な品質要求によるエアコン使用量などの増加などによる電力量増加						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	使用量を原単位 (対基準度) より 31%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解炉断熱向上、保温性向上</li> <li>・不必要時のバーナー消化</li> <li>・生産ラインの可動率向上</li> <li>・生産ライン故障強度率の低減</li> <li>・生産ラインの不良率低減</li> </ul>
2	LPG使用量の削減	使用量を原単位 (対基準度) より 40%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱処理設備の稼働時間調整による、空燃焼防止</li> <li>・排砂向上による燃焼工程廃止</li> <li>・LPG使用設備の可動率向上</li> <li>・LPG使用設備の不良率低減</li> </ul>
3	電気使用量の削減	使用量は原単位 (対基準度) より 98%増	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低電力照明への切り替え</li> <li>・夏季エアコンのピークカット制御</li> <li>・熱源の屋外排熱の実施</li> <li>・コンプレッサーの台数制御改善、負荷調整</li> <li>・集塵設備のインバーター化による効率化</li> </ul>
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	産業廃棄物排出量の削減	排出量を2011年から 5年間で原単位3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別収集、廃棄物の細分化</li> <li>・リサイクルの推進</li> </ul>
2	紙購入量の削減	コピー用紙購入量を2011 年から5年間で原単位3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス、裏紙の利用</li> <li>・期限切れ保管書類の整理</li> </ul>
3	環境活動の周知	1回/月の環境会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の定例会議の開催</li> <li>・月1回の全社環境分科会の開催</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。